



防水板 導入の進め方

防水板を設置したいけど、どう進めればいい？
そんな疑問が解決します。



防水板 導入の進め方



改修工事の場合

既存建物、施設への工事

基本構想

自治体ホームページなどで公開されているハザードマップなど、まずは手軽に入手できる情報を基に対策の必要性について検討を行います。

情報収集

弊社『水災BCP策定支援サービス』により、リスク調査・分析が可能です。また『水災害に備える!防水板の種類と選び方ガイドブック』により対策の種類や事前準備について情報収集ができます。これらの活用により計画を更に具体化します。

現地調査

改修工事の場合、防水板の施工に関わる壁や床、建具などの隠ぺい部の状態を図面などで確認が必要です。また工事を実施する場合、既存建物の機能維持(人・車の動線の確保など)、安全対策、近隣対応、その他付帯工事などを考慮し、既存建物の建設会社へ相談されることをお勧めします。建設会社と現状を確認し、工事の方法や設置の可否などを検討します。

☆弊社は『メーカー責任施工』を特長としています。製造から施工、点検、補修に至るまで一貫して対応し、製品を長期間安全にご使用頂けるよう伴走致します。

工事計画策定

現地調査の結果を踏まえ、防水板の種類を選定し、付帯工事を含む防水板工事に関わる工事費用の算出や工程など工事計画の策定を行います。

工事の実施

建物の管理側との調整を経て、工事計画及び製品製作図(施工図)が承認されたら、図面に基づいて製造、工事が行われます。

完成運用開始

完成お引渡し後は、いざという時のために、正しい保管、定期的な設置訓練が必要です。

☆弊社『水災BCP策定支援サービス』はお客様のBCP策定のお手伝い、防災訓練のご支援なども承っております。防災対策をより効果的な取り組みにするために是非ご活用下さい。

防水板 導入の進め方

新築工事の場合



基本構想

建設予定地について、自治体ホームページなどで公開されているハザードマップなど、まずは手軽に入手できる情報を基に対策の必要性について検討を行います。

情報収集

弊社『水災BCP策定支援サービス』により、リスク調査・分析が可能です。また『水災害に備える!防水板の種類と選び方ガイドブック』により対策の種類や事前準備について情報収集ができます。これらの活用により計画を更に具体化します。

基本計画・基本設計

設計監理業務を委託する業者が決定した時点で、改めて水害リスクへの対策を協議し、基本計画に落とし込みます。防水板の配置(設置が必要な場所選定、想定浸水高さの設定など)、仕様の選定、ゾーニング(エリア毎の収納場所、設置動線など考慮)などを行い、図面に反映されます。

実施設計

建設会社が決定し、建設会社により防水板工事業者の選定が行われます。過去の実績、機能・性能、価格、品質管理体制など様々な要素により選定されます。

☆弊社は4000件以上の建物へ納入実績がございます。また『メーカー責任施工』を特長としており、工事後の点検、補修へも対応し、製品を長期間安全にご使用頂けるようお客様に伴走いたします。

工事の実施

選定された業者は製品製作図(施工図)により仕様など諸条件の確認を行い、建設会社からの承認を受け、承認された図面に基づき製造、工事が行われます。

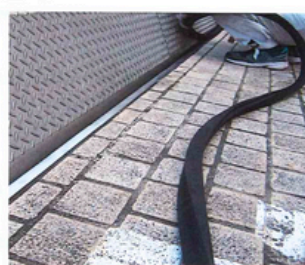
完成運用開始

完成お引渡し後は、いざという時のために、正しい保管、定期的な設置訓練をお願いいたします。

☆弊社『水災BCP策定支援サービス』はお客様の水災BCP策定のお手伝い、防災訓練のご支援なども承っております。防災対策をより効果的な取り組みにするために是非ご活用ください。

防水板 導入の進め方

より長く 安心して
お使いいただくために



電動起伏式



脱着式



シート式



● お問い合わせは最寄りの営業所までお願いいたします。

東京営業所 TEL.03-5939-9881
大阪営業所 TEL.06-6155-8420

福岡営業所 TEL.092-481-7551
大分営業所 TEL.097-547-8610